

和束町第5次総合計画に向けた 住民ワークショップ結果概要

- 開催日時 : 令和2年12月13日 午後2時～4時
開催場所 : 和束町社会福祉センター2階 大ホール
参加者 : 子育て世代の方 7名 (内1名欠席)

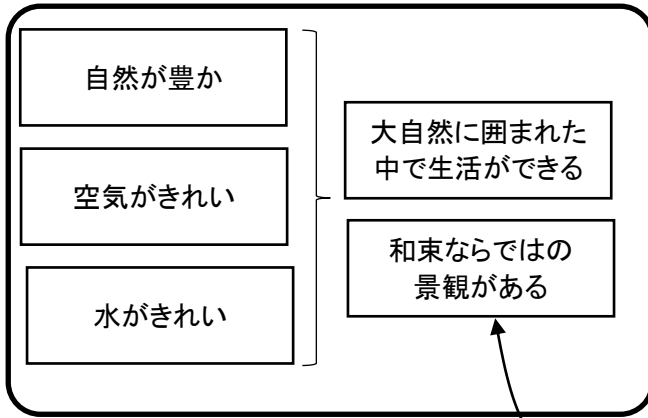
<ワークショップ結果の要旨>

ワークショップで出された様々な意見は次ページ以降に掲載していますが、その結果要旨は次のように概括されます。

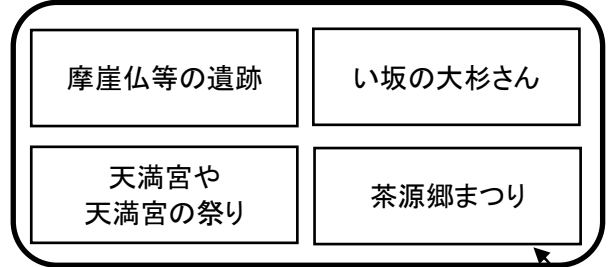
- 和束町の良いところや自慢できることは
 - ・自然環境のすばらしさと、茶の栽培がもたらす特徴ある地域景観
 - ・古くからの歴史・文化や、茶源郷まつり等のお祭り
 - ・「お茶のまち」としてのブランドや歴史
 - ・子供の数は少ないが、子育て支援は全国ベースでもみても非常に手厚い
 - ・関西圏の真ん中にあり、周辺の大都市圏へアクセスしやすい位置にある
- 一方、和束町の問題点や課題は
 - ・茶業界以外では、和束町の知名度は非常に低い
 - ・少子高齢化が急激に進行し、人口減少が続きこのまま続くと消滅しかねない
 - ・働く場所が少なく、生活面（買い物、医療・福祉、住居、交通 等）での各種機能も脆弱なので、定住する条件が弱い
- これらを踏まえ、今後のまちづくりの基本的な方向は
 - ・「お茶」の分野を除き、和束の知名度は非常に低いのが現実
 - ・まずは、「和束のアピール」を様々な形で展開すべき
 - ・キャッチフレーズ的には“本物のお茶に出会えるまち和束”
 - ・また、今後の人口対策を踏まえ、子育て支援がどこよりも手厚いことに加え“小さいまちだからこそできる、ユニークな子ども教育のまち”を目指す

和東町の良いところ・自慢できること

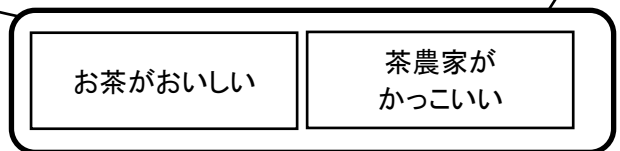
【自然環境のすばらしさ】



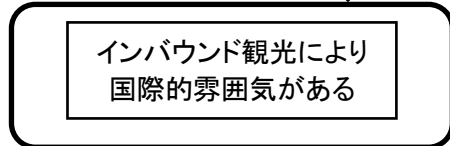
【特徴ある歴史・文化遺産やお祭り】



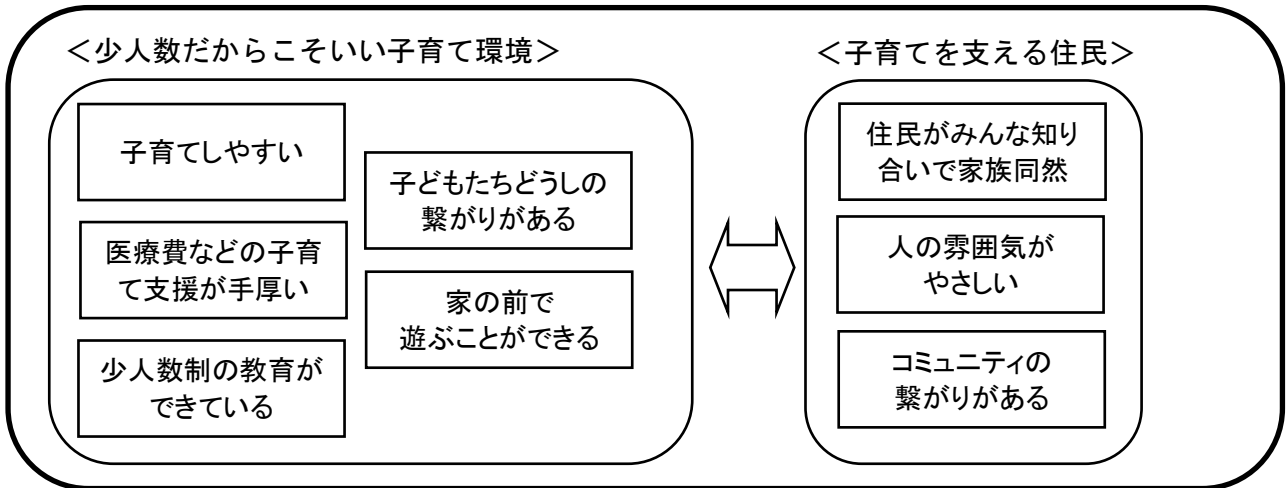
【お茶の町】



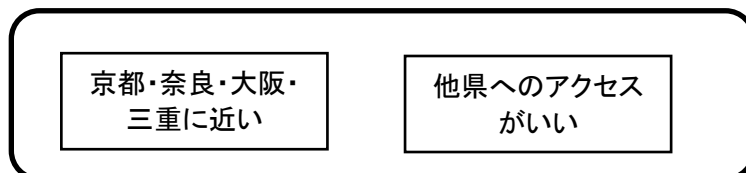
【お茶を介した観光】



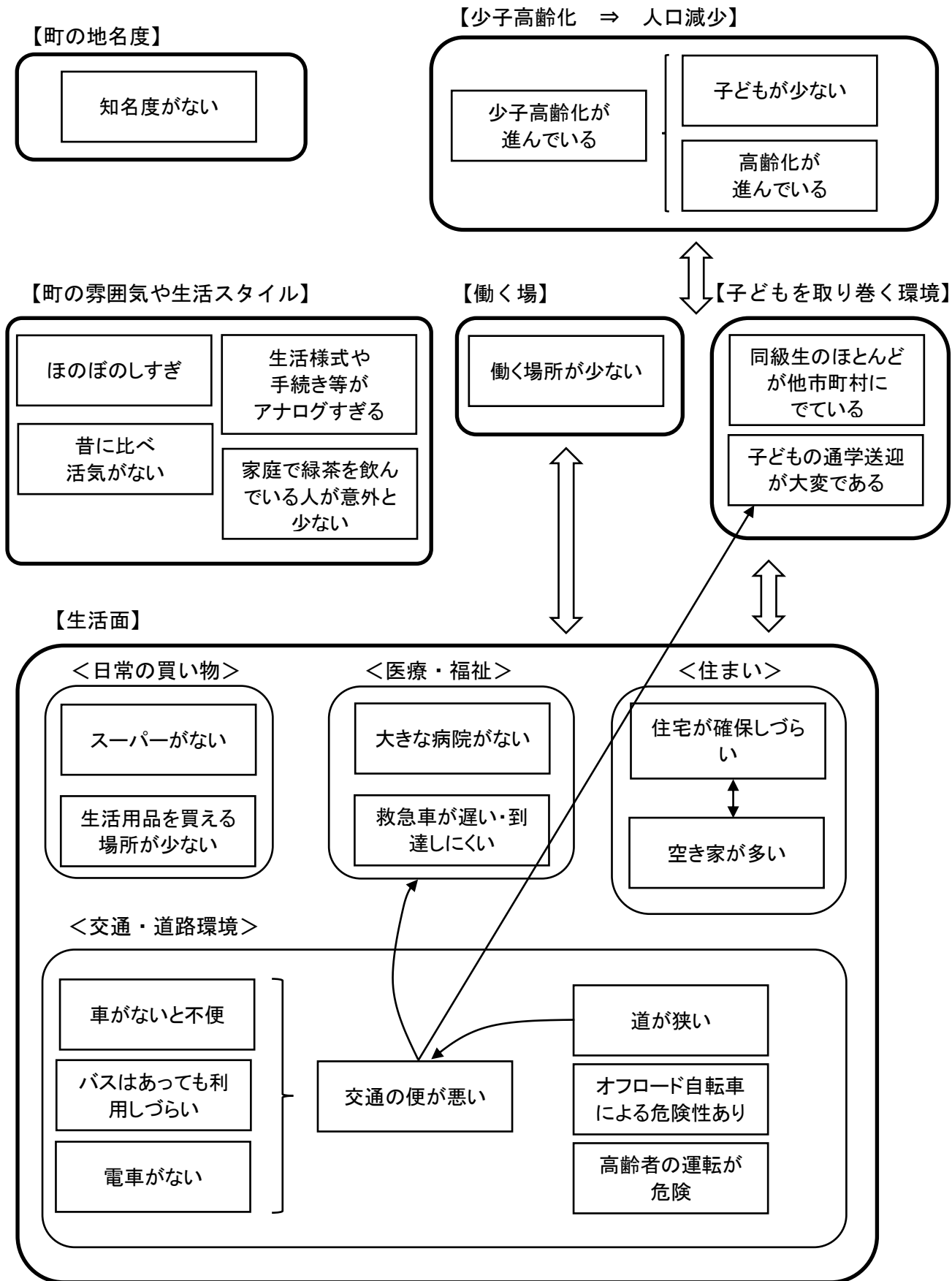
【子育て環境】



【和東町の特徴的な位置】

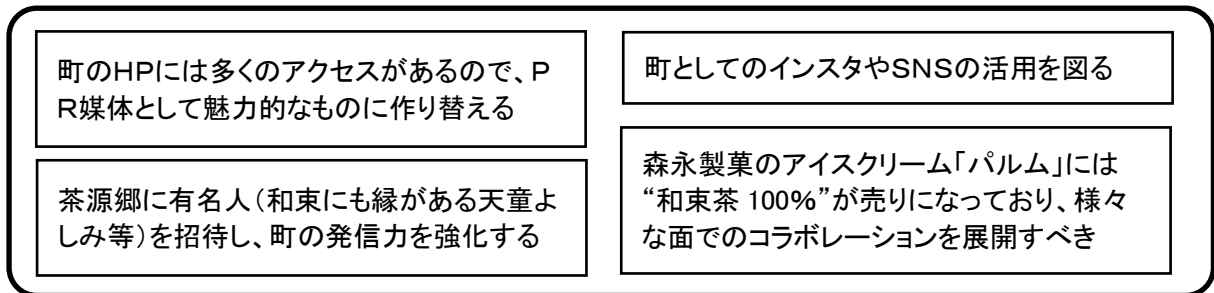


和東町の問題点や課題

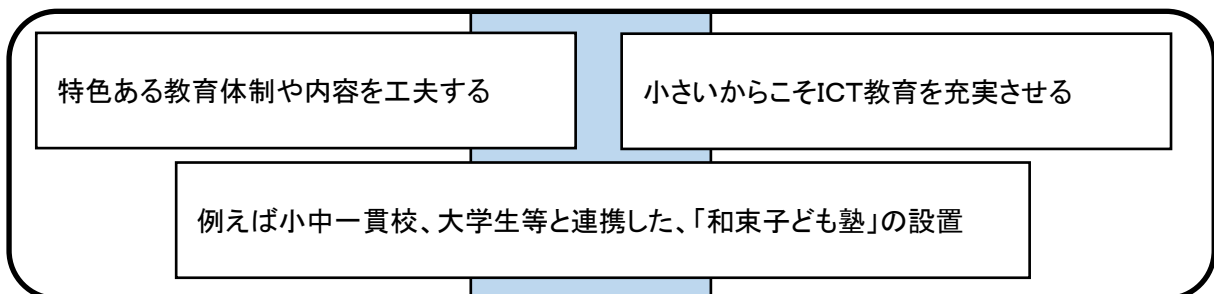


今後のまちづくりについて

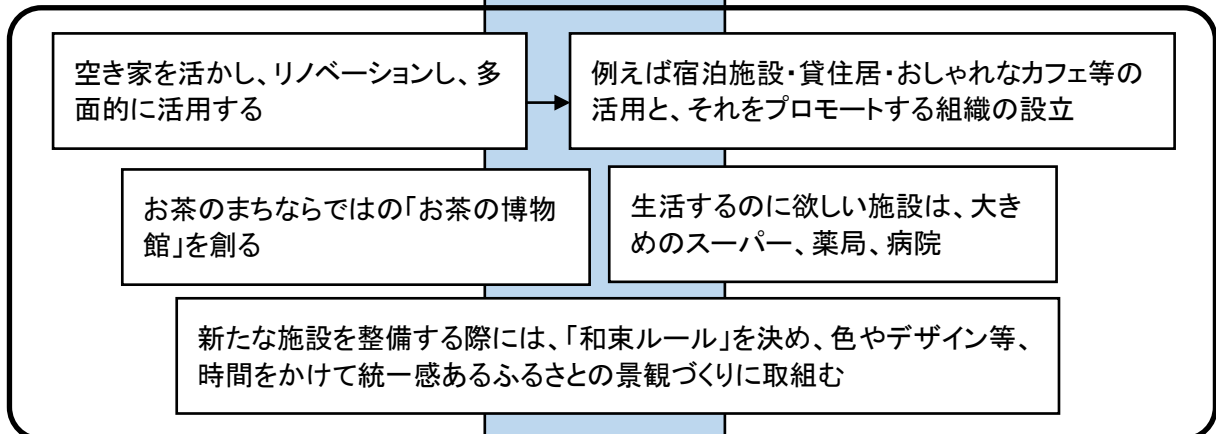
【和東町を知ってもらうことがまずは重要 ⇒ お茶にも観光にもひいては定住に繋がる】



【小さくても光るもの（特徴）を出すには、子どもの教育が重要 ⇒ 定住に繋がる】



【併せて、住まいの確保や、新たな施設をつくる時には、“和東ルール”で景観づくりに取り組む】



【和東町の将来像】

「お茶」の分野を除き、和東の知名度は非常に低いのが現実
まずは、「和東のアピール」を様々な形で展開すべき
キャッチフレーズ的には“本物のお茶に出会えるまち和東”
また、今後の人口対策を踏まえ、子育て支援がどこよりも手厚いことに加え
“小さいまちだからこそできる、ユニークな子ども教育のまち”を目指す